

ロジスティックシステムデザイン～ロジスティックシステムデザイン：

概要

職務遂行のための基準

（概要）

サードパーティロジスティクス（3PL）として、ロジスティクスシステムに関する専門的な知見を活かし、経営的観点から顧客のロジスティクスを分析し、問題・課題の抽出を行い、運送システム、倉庫システム、物流情報システムを統合したロジスティクスシステムのソリューションを立案、提案する仕事。運送業部門と倉庫業部門に共通の職務。

（仕事の内容）

仕事の内容は大きく2つに分けられる。会社の規模によって、一人の担当者が下記すべての仕事を担当する場合もあれば、異なる部署に分かれている場合もある。

1. 顧客診断 顧客からロジスティクスに関するデータの提供を受け、それに基づいてロジスティクスのコストや効率性の分析を行い、現状の問題・課題を明らかにする仕事。
2. ソリューション提案営業 顧客診断で明らかになった現状の問題・課題に対し、運送システム、倉庫システム、物流情報システムや、それらを統合した全体最適の観点からソリューションを立案し、顧客にプレゼンテーションする仕事。

（求められる知識・経験）

1. （採用）ロジスティクスシステムデザインの仕事を行うための学歴要件は問われないことが多い。ただし、ロジスティクスに関する幅広い知識と経験を必要とするため、中途採用のニーズも多い。
2. （知識）顧客の業界動向から企業経営、物流システム、物流の実作業まで、環境対策や物流情報システムを含め、ロジスティクスに関する幅広い知識が必要である。特に、ロジスティクスや物流に関する最新のマネジメント手法を把握しておく必要がある。
3. （能力）データを基にロジスティクスの分析や問題・課題の抽出、ソリューションの立案を行うことから、コンサルティング能力に加え、デザイン力、プロジェクト遂行能力、また、提案営業にはプレゼンテーション能力が求められる。

（関連する資格・検定等）

- ・ 中央職業能力開発協会の実施する認定試験
- ・ ビジネス・キャリア制度（物流管理）
- ・ 社団法人日本ロジスティクスシステム協会の実施する認定資格
- ・ ロジスティクス経営士、物流技術管理士
- ・ 「情報処理の促進に関する法律」に基づき独立行政法人情報処理推進機構の実施する資格
- ・ システムアドミニストレータ